

与謝の海病院NEWS

平成20年4月
Vol.114

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～

京都府立与謝の海病院
〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumihp/
●発行責任者：柴田事務部長

平成20年度のスタートにあたって



京都府立
与謝の海病院院長
内藤和世

平成20年度のスタートに当たって、一言ご挨拶申し上げます。日本の多くの地域で医師不足が大きな問題になっています。京都府北部でも多くの病院で医師の不足のために診療科の閉鎖が相次いでいます。与謝の海病院も例外ではなく、一部の診療科で機能を縮小せざるを得ない

状況に陥っています。困難な状況ではありますが、地域の開業医の先生、あるいは多くの病院との連携を深めることにより、地域の皆様に最適な医療が提供できるように体制整備を図って参ります。

昨年度は「病院モニター制度」の取り組みを開始し、地域の皆様に病院のありのままの姿をごらんいただき、ご意見を頂戴する外部評価制度を具体化しました。私たちの思いもかけなかった貴重なご意見を多数いただくことができました。

本年度は、病院理念、職員キーワードに加えて、行動目標として「患者満足度、職員満足度の向上」を

定めました。あえて、この目標を設定したのは、もう一度原点に立ち返って、「患者様の視点」から患者様の多様なニーズを再度おこし、現在の対応を検証し、新たな取り組みによって満足度を高めたいと考えるためです。そして、それを実現していくためにも、病院職員がやりがいと満足感を持って、患者様と接することができるような環境作りをしていきたいと考えています。この目標に到達することで、医師、看護師を始め、病院職員が地域の皆様に貢献できる体制が整うと信じています。

与謝の海病院は、内外の課題を地域の皆様と共に考え、協働して解決し、「患者が中心の、地域に開かれた病院」にしてまいります。

本年度も皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成20年4月

《病院理念》 患者が中心の、地域に開かれた病院
《キーワード》 医療の安全確保と良質な医療の提供
《20年度目標》 患者満足度、職員満足度の向上



3月3日 雛祭りの贈り物

当院でボランティア登録いただいている山本恵美子さんをはじめとする有志の皆さんで、紙皿と折り紙を利用した雛まつり用壁飾り30枚を作成されました。壁飾りは3月3日の雛祭りに合わせて、病棟や外来で患者様に手渡されました。突然のプレゼントをもらったある患者様は「孫に是非いただいて帰りたい。」と喜ばれていました。



(看護部)

主な内容

- 1 ページ ○平成20年度のスタート ○雛祭りプレゼント
- 2 ページ ○診察室 — 消化器科 — ○医事課 (初診料)
- 3 ページ ○各科紹介 — 小児科 — ○ふれあいコンサート ○栄養管理課 (一口レシピ)
- 4 ページ ○外来各科診察担当医表 ○転入・転出医師の紹介



診察室

『ピロリ菌って何?』 — 消化器科 時田 和彦 —

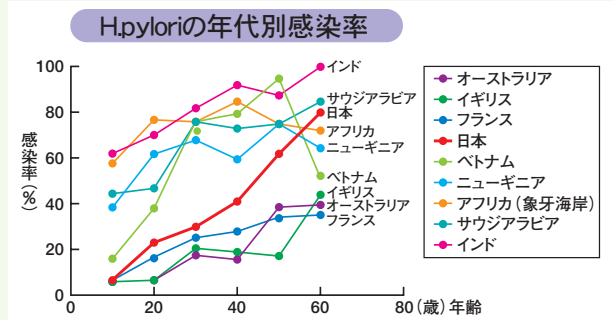
昔は、胃の中は酸性が強いので、細菌は生きられないと思われていました。ところが25年前に、新しい菌がヒトの胃内から発見され、のちにヘリコバクター・ピロリ（通称ピロリ菌）と呼ばれるようになりました。

よく調べてみると、この菌が胃内にいる人は、胃・十二指腸潰瘍や胃癌など、多くの疾患にかかりやすいことが分かりました。なんと日本人の約半数が、子供の頃からこの菌を胃の中に持っています。どうも口から感染するらしいのですが、よく分かっていません。日本では高齢者ほど感染している人が多く、40歳以上では約6~7割の人がピロリ菌陽性です。ピロリ菌にもいろいろなタイプがあり、日本人がよく持っているタイプの菌は、胃癌と関係が深いことも分かりました。

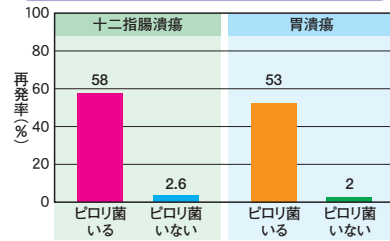
菌がいるかどうかは、採血検査や、胃カメラ検査時に調べれば分かります。また特殊な薬を飲んだ後に、吐いた息を調べても分かります。

除菌には、胃潰瘍の薬を1種類、抗生物質を2種類、ともに1週間服用します。これで8割方の人除菌が成功しますが、菌が残ってしまう人もいます。除菌の副作用は、軽い下痢と味覚異常が主で、これ

らは除菌終了とともに元に戻ります。一度除菌に成功すると、再感染することは少ないと言われています。もしもピロリ菌が陽性で、上記のような疾患にかかった人は、除菌治療を受けた方が良いでしょう。ですので、一度消化器科の医師にご相談下さい。



ピロリ菌がいるかないかで、潰瘍の再発率がこんなにちがう!



Graham, D.Y. : Gastroenterol Clin Biol 13 : 84b, 1989 より改変

お知らせ

初診の方は「紹介状」をお持ちください!



当院は「地域医療支援病院」として、患者様お一人おひとりに、質の高い医療を提供するために「初期の診療はかかりつけ医、専門的な治療が必要になったら 当院へ」という役割分担と地域連携を進め、地域ぐるみで医療に取り組むと考えています。

これをより進めていくため、改めて、初診の外来患者様には「紹介状」（診療情報提供書）の持参をお願いするとともに、紹介状のない初診の患者様に

は、保険診療の自己負担とは別に、「2,100円」のご負担をお願いすることとしました。紹介状があると、あらかじめ病状が適切に評価されているため、治療を円滑に行うことができます。それにより、ご迷惑をおかけしている外来の待ち時間の短縮につながります。皆様のご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳しくは、当院医事課までお尋ねください。

「紹介状」のない患者様の初診については、診療費とは別に「2,100円」をご負担いただきます。

開始時期：平成20年4月1日～

※この料金は、医療機関の機能分担の推進を目的として厚生労働省により制定された「保険外併用療養費制度」に基づいています。※公費負担制度にかかる特定の障害・疾病に該当する場合等は対象にはなりません。

「初診」とは、次のような場合です

- ① 当院を初めて受診する場合
- ② 過去に当院を受診したことはあるが、新たな症状で受診する場合
(治療を継続中に、他科を受診された場合は、他科は初診として扱いません)
- ③ 過去に当院を受診したことはあるが、治療期間が終了した(症状がいったん治まった、治療を継続していないなど)後に、同じ症状で来院された場合
※慢性疾患など、同一の疾病が長期にわたって継続する場合は、初診として扱いません

(医事課)

診療科紹介

— 小児科 —



小児科は、小児に関する内科的な病気を、広く診ている科です。成人の分野では近年、部位・疾患別に診療科の専門化が進んでいますが、一方で小児科では依然、小児の全身を系統的・総合的に診ることが必要とされております。小児の病気の中で、何と言っても多いのは、感染症（うつる病気）です。患者様の8～9割は何らかの感染症での受診ともいえます。ところで小児の感染症の大半はウイルスによるものであり、ウイルスの大半は治療する薬が無い代わりに、通常の免疫力があれば普通は数日で治っていくものです。一方、近年抗生剤が細菌に効きにくくなってきておりますが、その大きな原因は抗生剤の多用にあることは間違いのないことであります。そこで、当科では、感染症の診断のために、症状を重視して診断するのは勿論、ウイルスの検出キットの使用と必要時は血液検査も行って、感染症の診断ならびに病気の今後の見通しをお話するのに役立っていると同時に、不必要な抗生物質の投与

を極力避けるように努めています。また、ここ丹後地方は喘息のお子さんが多いのですが、当院の小児科では、『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005』に基づき、吸入ステロイドを治療の柱として多くの喘息のお子さんを治療しています。また、アレルギーを持つお子さんや、その他の事情で市町村による予防接種が受けられなかったお子さんのため、市町村からの依頼による専門的予防接種も行っています。

小児科医長 山添 一郎
(平成20年3月31日付け退職)



2月26日午後6時30分から当病院エントランスホールにて、加悦谷高校合唱部の皆さん、同合唱部OGで声楽家の成毛未来さんのご出演により「第11回ふれあいコンサート」を開催しました。1部では合唱部の皆さんによる名曲の披露、2部は成毛さんの独唱、3部では当院耳鼻咽喉科の佐渡先生と合唱部の皆さんのセッションがあったりと、名曲から身

近な歌謡曲まで幅広いジャンルの楽曲をプレゼントしていただきました。

患者さんをはじめ近隣住民の方など、約200名の方々に来ていただき大いに盛り上がりました。
(この行事は当院職員のボランティアで運営されています。)

(庶務課)

【春のお花見弁当】

春のお花見の時季です。入院中の患者様が桜の木の下でお花見しながらお食事が召し上がれるようにお花見弁当を企画しました。



手軽に作れる
可愛い
手まり寿司の
御紹介！



【作り方】

- ①すし飯を作ります。
- ②エビ・マグロ・うなぎ・タイ・ヒラメなどを一口大に薄切りにします。
- ③左手にラップか布巾をのせ②の具をのせます。その上に一口大のすし飯をのせひっくり返して「ギュ」と握ります。
- ④ラップまたは布巾をとります。

(栄養管理課)

外来各科診察担当医表

(平成20年4月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金
11	総合内科	時田 和彦 副院長	吉川 修 医長	大月 亮三 医長	時田 和彦 副院長	半田 修 医長
12	呼吸器科	小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長		小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長
	消化器科			西川太一朗 副医長 (肝臓)		
13		杉山 祐介 副医長	奥田 隆史 副医長	濱口 恭子 医師	半田 修 医長	高木 智久 医長
14	循環器科	本庄 尚謙 副医長	五十殿弘二 副医長	吉川 修 医長 (腎・高血圧)	木村 晋三 医長	田川 雅梓 副医長
26	精神科神経科	常見 哲平 医師	上村 宏 医長	上村 宏 医長	上村 宏 医長	常見 哲平 医師
23	小児科	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	上田 育代 副医長
18	外科	1診 内藤 和世 院長	當麻 敦史 副医長	伊藤 剛 医長	中村 憲司 医長	藤 信明 診療部長
		2診 川口 耕 医師		上田 英史 医師		佐々木裕二 医師
	乳腺クリニック(午後)	中村 憲司 医長				
22	整形外科	井上 裕章 医師	戸谷 祐樹 医師	大久保直規 副医長	高宮 尚武 医長	(1,3週)戸谷祐樹 医師 (2,4週)井上裕章 医師 (5週)大久保直規 副医長
17	脳神経外科	松岡 秀典 医師			松岡 秀典 医師	
19	眼科	1診 永田 健児 医師	永田 健児 医師	小森 秀樹 医長	小森 秀樹 医長	畑中 宏樹 医師
		2診 畑中 宏樹 医師		畑中 宏樹 医師	永田 健児 医師	
20	産婦人科	安尾 忠浩 副医長	岩破 一博 副院長	山口 剛史 医長	山元 博貴 医師	岩破 一博 副院長
24	泌尿器科	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長	松原 弘樹 医長	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長
25	耳鼻咽喉科	1診 長谷川達央 副医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長
		2診	長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	
21	ペインクリニック		(奇数週)松山広樹 医長 (偶数週)梅内貴子 副医長			
16	皮膚科	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長		花田 圭司 医長

●受付時間/8:00~11:00(ただし、乳腺クリニックは14:30まで)

●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

異動情報	診療科名	転出者 (平成20年3月31日)		転入者 (平成20年4月1日)		
	消化器科	医長 保田 宏明	副医長 森 康二郎	専攻医 堀江 隆介	医長 半田 修	副医長 高木 智久
循環器科	副医長 西川 享	医師 竹田 光男	立石 健人	副医長 田川 雅梓	副医長 本庄 尚謙	専攻医 五十殿 弘二
外科	診療部長 谷口 弘毅	医師 渡辺 太治	専攻医 柏本 錦吾	副医長 當麻 敦史	副医長 佐々木 裕二	専攻医 上田 英史
脳神経外科	医長 林 泰弘					
整形外科	医長 長岡 孝則			副医長 戸谷 祐樹	副医長 高宮 尚武	専攻医 松原 弘樹
産婦人科				副医長 安尾 忠浩	副医長 山元 博貴	専攻医 山元 博貴
小児科	医長 山添 一郎			副医長 小川 弘	副医長 常見 哲平	専攻医 常見 哲平
精神科神経科	専攻医 西田 誠司					
泌尿器科	医長 野本 剛史	副医長 平山 きふ		副医長 松原 弘樹	副医長 清水 輝記	専攻医 清水 輝記
耳鼻咽喉科	医長 正垣 一博	副医長 佐渡 文彦		副医長 松波 達也	副医長 長谷川 達央	専攻医 松波 達也
麻酔科	医長 深澤 圭太	副医長 谷口 知史	専攻医 山根 毅郎	副医長 松山 広樹	副医長 梅内 貴子	専攻医 梅内 貴子

【発行】 京都府立与謝の海病院 【編集】 与謝の海病院広報委員会 【問合せ先】 庶務課
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumhp/>